

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【公開番号】特開2015-83662(P2015-83662A)

【公開日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-029

【出願番号】特願2014-178747(P2014-178747)

【国際特許分類】

C 08 F 8/46 (2006.01)

C 08 L 23/26 (2006.01)

C 08 L 23/02 (2006.01)

【F I】

C 08 F 8/46

C 08 L 23/26

C 08 L 23/02

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリオレフィン(A)と不飽和(ポリ)カルボン酸(無水物)(B)とをラジカル開始剤(D)の存在下で反応させる変性ポリオレフィンの製造法であって、該(A)が数平均分子量30,000~400,000のポリオレフィン(A0)を熱減成して得られ、数平均分子量800~50,000であり、炭素数1,000個当たり0.1~20個の二重結合を有し、該(A)の(A)に基づく分子量500以下の含有量が0.10~15重量%である変性ポリオレフィン(X)の製造法。

【請求項2】

(A)と(B)との重量比[(A)の重量/(B)の重量]が、80/20~99/1である請求項1記載の製造法。

【請求項3】

(X)中の遊離カルボン酸成分の割合()が、該(X)に基づいて3.5重量%以下である請求項1または2記載の製造法。

【請求項4】

請求項1~3のいずれか記載の製造法で得られる変性ポリオレフィン(X)を含有してなる樹脂改質剤(K)の製造法。

【請求項5】

請求項4記載の製造法で得られる樹脂改質剤(K)とポリオレフィン樹脂(E)を含有してなるポリオレフィン樹脂組成物の製造法。

【請求項6】

(K)と(E)との重量比[(K)の重量/(E)の重量]が、10/90~40/60である請求項5記載の製造法。

【請求項7】

請求項5または6記載の製造法で得られるポリオレフィン樹脂組成物を成形してなる成形品の製造法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の製造法で得られる成形品に塗装および / または印刷を施してなる成形物
品の製造法。